

鹿児島
JAあいら

若手・中堅職員育成「経清塾」 塾長に大学教授



塾生に語り掛ける吉本塾長④
(鹿児島県霧島市で)

【鹿児島・あいら】JAあいらは、組織の中核となる人材を育てる「JAあいら経清塾」で、新たな試みと

して南九州大学（宮崎市）の吉本博明教授を塾長に迎えた。外部から塾長を迎えることで、第9期を迎えた研

修をさらにレベルアップさせる。

経清塾は職員の企画力と実現力を育てる。専門的、総合的な知識と技能を持った職員の育成を目指す。今期は5月下旬にスタート。10人の若手・中堅職員が参加した。

来年2月まで全11回の講義で、経営をめぐる情勢や課題を整理しながら研さんを積む。JAが抱える問題点の抽出、改善策を企画・立案する。

吉本教授は、2016年締結のJAあいら、霧島市、第一工業大学による産官学の包

括連携協定に尽力。管内農産物を活用したJAの6次産業化商品開発への支援など、管内農産物の付加価値向上に力を注いだ。17年からは塾の客員講師を務めている。

研修では、中條秀二

組合長が講義。トップ自ら人づくりに力を注ぐ姿勢を示した。吉本教授は「時代が大きく変わっている。次の10年に向けて行動できる人材を育成し、戦える組織づくりを目指したい」と抱負を語った。